

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年12月15日

事業所名：サポートキッズうけんのいえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	☆玄関前の段差が視覚的に分かるよう、滑り止めの効果も兼ねた階段用のテープを貼って対応している。	☆玄関に段差があり、今後スロープや手すりなどの設置も検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		☆活動フロアや教材、備品等の4S(整理・整頓・清潔・清掃)を一人ひとりが徹底して行い、毎日気持ちよく過ごせるよう務めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	☆朝や業務後のミーティング時に児童の情報や気になること、保護者からの意見等共有するようにしている。	☆話し合いを基に支援に活かせるよう、意見を出し合い、今後も継続していきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	☆初回の評価実施で協力依頼を行い、保護者様のご協力のもと100%回収する事ができた。	☆保護者様のご意見をもとに、業務の改善とより良い支援につなげていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	☆結果を集計し、ホームページにて公表する。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	☆第三者による外部評価は行っていない。	☆状況見ながら検討したい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		☆月に一度、内部研修を開催している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		☆各関係機関が集まる担当者会議での情報を共有し、共通理解の基、計画書の作成を行っている。	☆アセスメントを適切に行い、継続していきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	☆誰が見ても分かりやすい適切なアセスメントがなされるよう、工夫している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	☆本人・ご家族のニーズを汲み取り、各関係機関の相互理解の基、適切な支援がなされるよう計画書の作成を行っている。	☆コロナで思うような活動ができていない部分もあるが、支援計画を基に一人ひとりに寄り添った支援を行っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1	☆職員全員が計画書をいつでも見れる状況にしている。	☆支援会議の開催時だけでなく、支援に行き詰った際には、積極的に計画書を確認していきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	☆その月の主となる職員を中心に協力して行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		☆個別のプログラムとは別に、日替わりでの集団プログラムをバランスよく立案し、取り組んでいる。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1	☆各児童の特性を踏まえ、バランスを考えて個別・集団プログラムの組み合わせを行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		☆朝のミーティングで、一日の流れや役割、申し送り事項等を全員で確認している。	☆継続していきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		☆業務後のミーティングの際に、気になった点や全員で共有すべき事項を確認している。	☆継続していきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		☆毎日提供日誌を記録し、いつでも確認できるようにしている。	☆継続していきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	☆定期的にモニタリングを行い、各職員の意見を取り入れて見直しを検討している。	☆継続していきたい。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	☆該当する児童がいません	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	☆該当する児童がいません	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	☆会議の場や保育園・幼稚園を訪問した際に支援についてや直近の様子など話し合い、相互理解を深めている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	☆会議の場や保育園・幼稚園を訪問した際に支援についてや直近の様子など話し合い、相互理解を深めている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		☆研修会には参加しているが、今後はより各職員バランスよく研修を受けられるようにしていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		☆コロナが終息し安全が確認された時には、保育園や幼稚園、他事業所の方々と交流できる機会を設けていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		☆参加はできていない状況だが、今後状況を見ながら検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		☆日々の連絡帳や送迎時で対面した際に状況を説明し、又はお話を伺い、状況によっては電話やメールでお伝えし、共通理解を図っている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		☆契約時に説明を行っている。	☆後日説明を求められた際にも再度説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		☆計画書を作成したのち、支援内容の説明を行ったうえで同意を得ている。	☆保護者様に対して、分かりやすい説明を心がける。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	☆相談があった場合には、相談内容を職員で話し合っている。	☆一職員の軽はずみな考え、言葉かけは行わないように徹底していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		☆保護者会等の組織はありませんが、コロナによりなかなか交流を持っていないのが現状だが、今後は事業所での行事に合わせて保護者様同士の交流の機会を持てるようにしていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			☆相談の申し入れがあった際には、丁寧にお話を伺うとともに、迅速に対応していきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		☆毎月うけんのいえ便りを発行し各ご家庭にお配りしている。また、タイムラインやブログ等で活動の様子などが分かるように発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			☆個人情報の取扱いは今後も十分注意していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		☆コロナが終息し安全が確認された時には、地域の方とも交流できる機会を設けられるよう検討する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		☆年2回の避難訓練を実施致している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		☆年2回の避難訓練を実施致している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		☆事前に保護者から情報の聞き取りを行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	5	☆保護者から事前に報告があり、全職員が把握できるようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		☆ヒヤリハット事例が発生した際には、直ぐにヒヤリハット報告書を記入・作成し、改善策を立てるなど行っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		☆内部研修会だけでなく、行政の研修会に参加するようにしている。	☆研修を受けた際には、研修受講報告書の記入・提出を行うようにする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	☆身体拘束を行う事がなく、今のところ計画書には記載していない。	☆今後必要であれば、記載の検討を行う。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。